

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 20 年 2 月 7 日 (2008.2.7)

【公表番号】特表 2007-514844 (P2007-514844A)

【公表日】平成 19 年 6 月 7 日 (2007.6.7)

【年通号数】公開・登録公報 2007-021

【出願番号】特願 2006-545519 (P2006-545519)

【国際特許分類】

C 1 0 G 67/02 (2006.01)

C 1 0 L 1/04 (2006.01)

【F I】

C 1 0 G 67/02

C 1 0 L 1/04

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 12 月 11 日 (2007.12.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

それぞれ原油生成物 1 g 当たり、残留物を 0.05 g 以下、沸点範囲分布が 0.101 MPa において 204 (400 °F) 以下の炭化水素を 0.001 g 以上、沸点範囲分布が 0.101 MPa において 204 ~ 300 の炭化水素を 0.001 g 以上、沸点範囲分布が 0.101 MPa において 300 ~ 400 の炭化水素を 0.001 g 以上、沸点範囲分布が 0.101 MPa において 400 ~ 538 (1000 °F) の炭化水素を 0.001 g 以上、及び触媒の少なくとも 1 種が 1 種以上のアルカリ金属を含有する 1 種以上の触媒を、0 g を超え 0.01 g 未満、含有する、S T P において液体である原油生成物。

【請求項 2】

触媒の少なくとも 1 種は、50 ~ 500 の温度範囲で放出ガスの放出ガス変曲点〔生成物の時間分析 (TAP) で測定〕を示し、及び / 又は触媒の少なくとも 1 種は、200 ~ 500 の温度範囲で解離熱 (示差走査熱量測定法により 1 分当たり 10 の加熱速度で測定) を示す請求項 1 に記載の原油生成物。

【請求項 3】

触媒の少なくとも 1 種は、更に遷移金属を含有する請求項 1 又は 2 に記載の原油生成物。

【請求項 4】

触媒の少なくとも 1 種は、更に遷移金属硫化物を含有する請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の原油生成物。

【請求項 5】

アルカリ金属対遷移金属の原子比が、0 を超え 1 以下である請求項 4 に記載の原油生成物。

【請求項 6】

アルカリ金属が、ナトリウム、カリウム、ルビジウム、セシウム又はそれらの混合物を含む請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の原油生成物。

【請求項 7】

触媒の少なくとも１種が、パートナイトを含有する請求項１～６のいずれか１項に記載の原油生成物。

【請求項８】

触媒の少なくとも１種が、更にアルカリ土類金属及び／又は亜鉛を含有する請求項１～７のいずれか１項に記載の原油生成物。

【請求項９】

請求項１～８のいずれか１項に記載の原油生成物又は該原油生成物と原油とのブレンドを処理する工程を含む、輸送用燃料、加熱用燃料、潤滑剤又は化学薬品の製造方法。

【請求項１０】

処理工程が原油生成物又はブレンドを１種以上の蒸留物フラクションに蒸留する工程を含む請求項９に記載の方法。

【請求項１１】

処理工程が水素化処理工程を含む請求項９又は１０に記載の方法。